

# **新アリーナの実現に向けた機運醸成シンポジウム (第3回:2026年3月12日、第4回:2026年6月6日) での参加者(県民・市民等)の声**

**2026年10月  
一般社団法人広島イベント事業振興協会**

# アンケートの概要(第3回シンポジウム)

**実施日：2026年3月12日(木)**

**アンケート実施場所：広島国際会議場 地下2階 ヒマワリ**

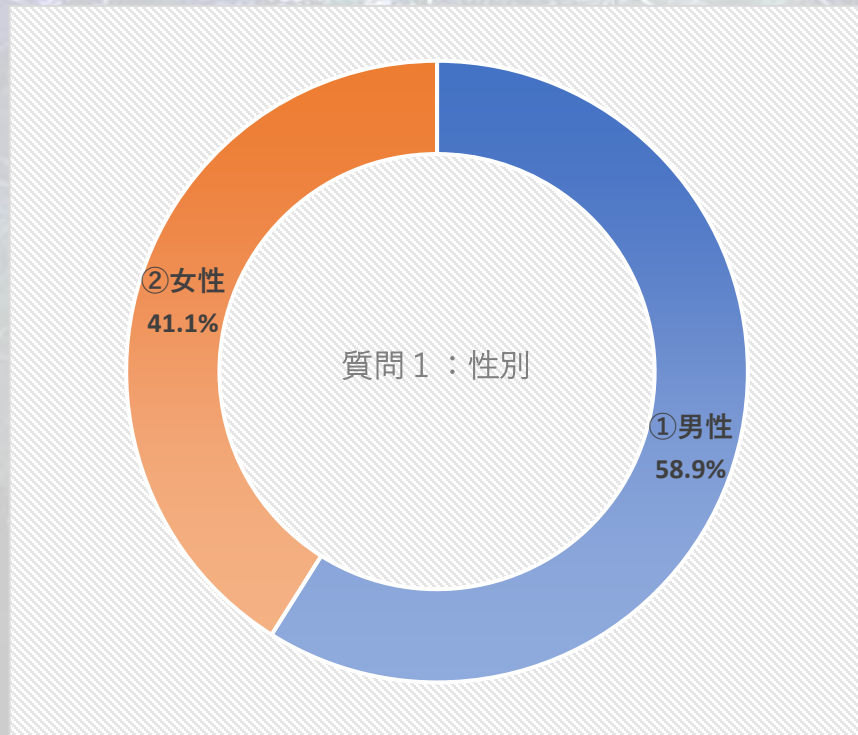
**実施方法：紙アンケート**

**有効回答：207人(シンポジウム参加者 約300人)**

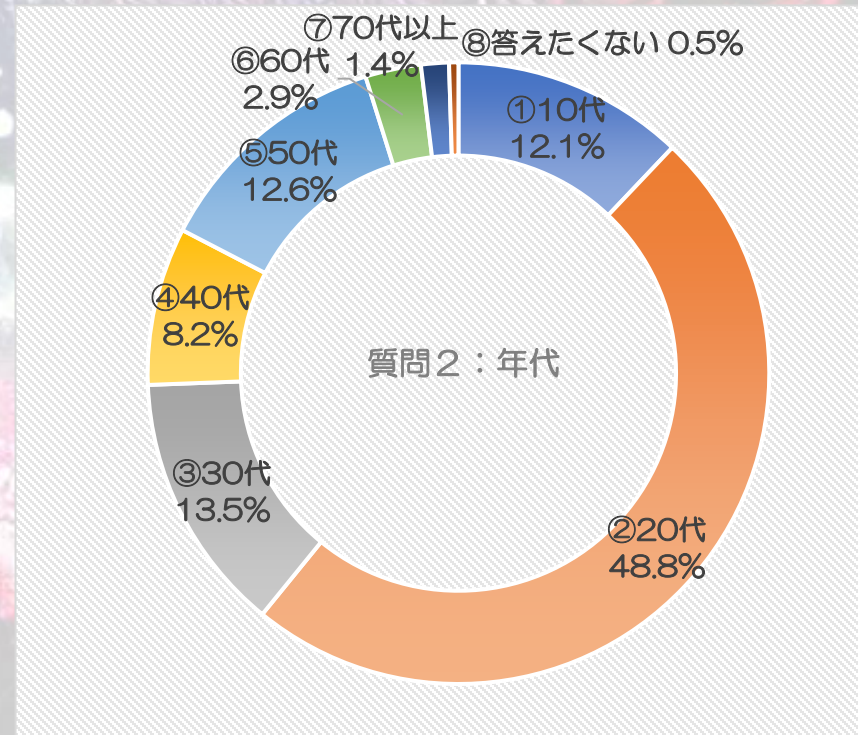
## アンケート内容

- 質問1：性別 ①男性 ②女性 ③答えたくない
- 質問2：年代 ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上 ⑨答えたくない
- 質問3：お住いの場所はどこですか。  
①広島市内 ②広島県内(広島市除く) ③中国地方(広島県内除く) ④四国地方  
⑤北海道地方 ⑥東北地方 ⑦関東地方 ⑧中部地方 ⑨近畿地方 ⑩九州・沖縄地方  
⑪その他( )
- 質問4：本日のシンポジウムの参加に当たり、質問3のお住いの場所から会場までの主要な交通手段は何ですか。  
①路面電車 ②バス ③JR在来線 ④JR新幹線 ⑤飛行機 ⑥タクシー ⑦自家用車  
⑧自動二輪・バイク ⑨自転車 ⑩徒歩 ⑪その他( )
- 質問5：1年間にどのくらいコンサートに行きますか。  
①1～3回 ②4～6回 ③7回～10回 ④11回以上 ⑤その他( )
- 質問6：コンサートやイベントの開催前や終了後、飲食やショッピングに行くことがありますか。  
①必ず行く ②時々行く ③ほとんど行かない ④行かない ⑤その他( )
- 質問7：お住いの場所以外で開催されるコンサートやイベントに参加した際に、現地で観光をされますか。  
①必ずする ②時々する ③ほとんどしない ④しない ⑤その他( )
- 質問8：コンサートの広島飛ばし解消のために、新アリーナは必要と思いますか。  
①必要である ②どちらかといえば必要である ③どちらかといえば必要ではない  
④必要ではない ⑤わからない
- 質問9：新アリーナができるとしたら、どのようなアリーナがいいですか。ご自由にご記載ください。
- 質問10：その他ご意見がありましたら、ご自由にご記載ください。

# 参加者アンケート(性別、年代)

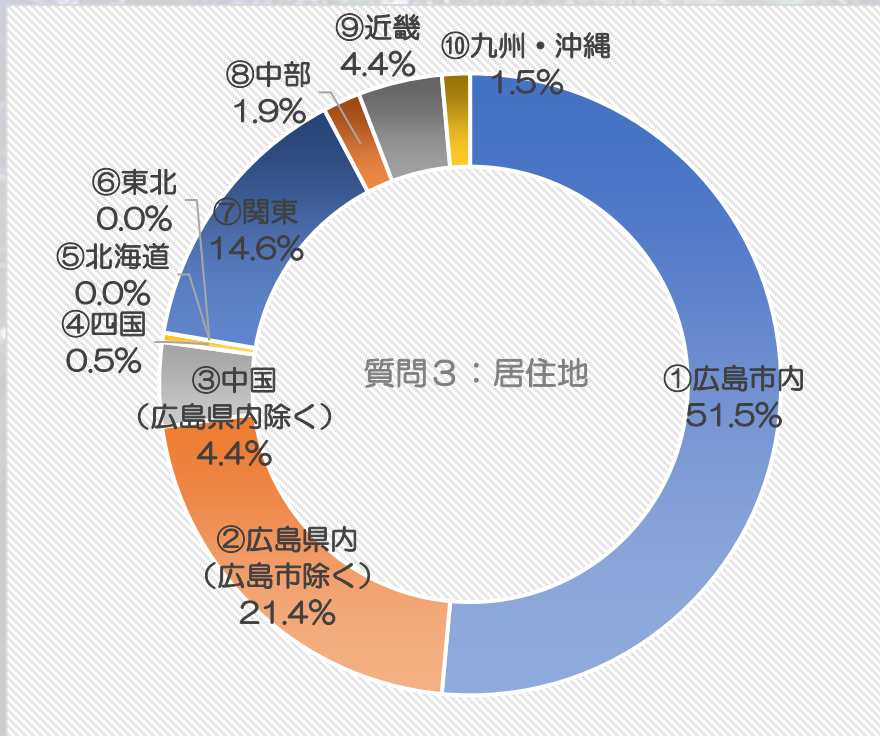


参加者の男女構成は、男性が約59%、女性が約41%であり、男性が多かった。

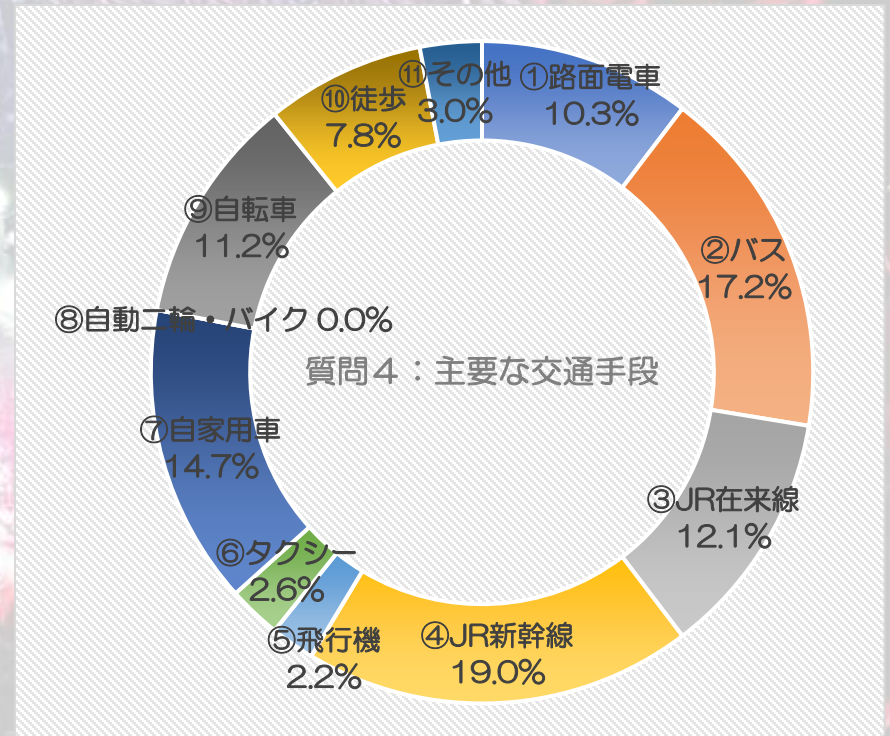


本シンポジウムは、若者の人口流出が多いという広島の社会課題への対応の視点を加え、若者へ訴求する内容とした。参加者は、20代が約49%と一番多く、10代~30代で約74%となり、企画意図を反映した年齢構成となった。

# 参加者アンケート(居住地、交通手段)

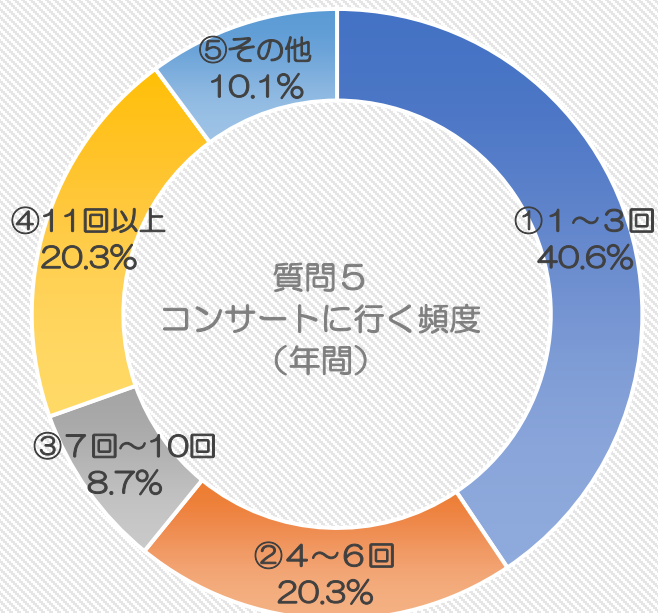


参加者の居住地は、広島市内が約52%で一番多く、次いで広島県内（広島市除く）が約21%、広島県内が約73%であった。広島県以外では、関東地方が約15%と一番多く、次いで近畿地方・中国地方（広島県内除く）であり、「推し」のイベントには遠方からでも来訪することが分かった。

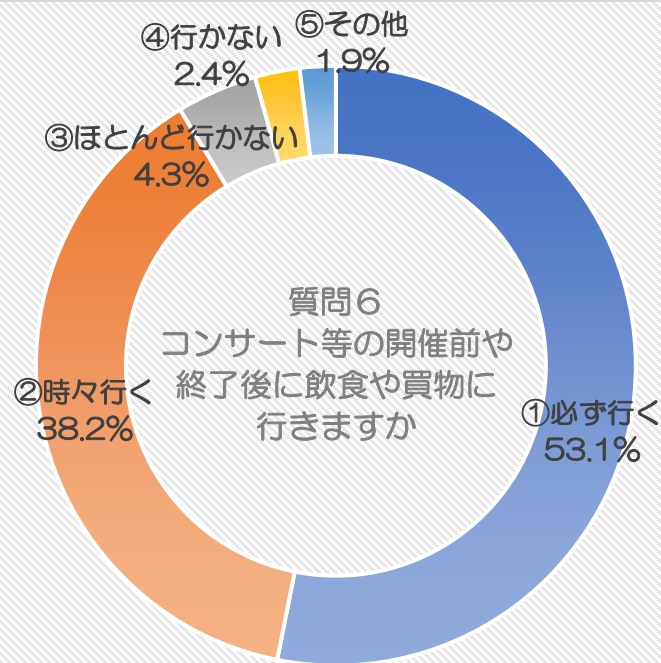


主要な交通手段は、JR新幹線が19%と一番多く、次いでバス約17%、自家用車約15%、JR在来線12%と続き、若者の参加が多かったせいか、公共交通機関の利用が多かった。

# 参加者アンケート(コンサートに行く頻度等)

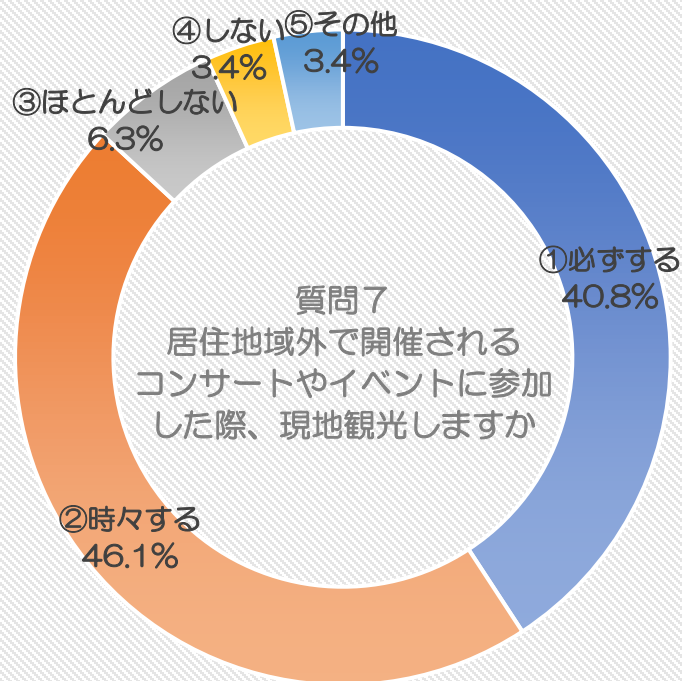


年間でコンサートに行く回数は、「1～3回」が約41%と一番多く、次いで、「4～6回」及び「11回以上」であった。11回以上行くというコンサートのコアファンが約2割いることも分かった。

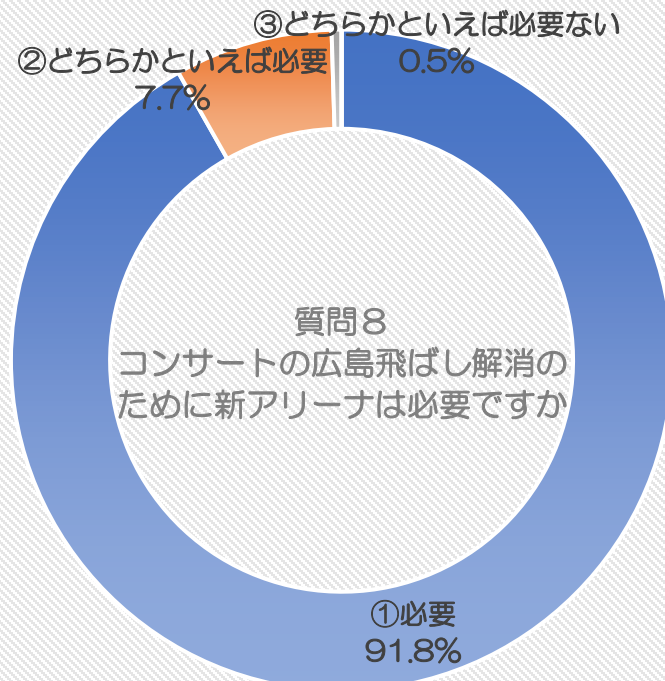


コンサート等の開催前や終了後の行動について、「①飲食や買物に必ず行く」が約53%と一番多く、次いで「②時々行く」が約38%であった。①と②を合わせると約9割の人が飲食や買物といった行動をしており、コンサート等の開催により、地域への経済波及効果があることが分かった。

# 参加者アンケート(現地観光等)



居住地域外のコンサートやイベントに参加した際の現地観光について、「②時々する」が約46%と一番多く、次いで、「①必ずする」が約41%であった。コンサート等で居住地域外へ出かけた際、観光という行動に結び付きやすいということが分かった。



コンサートの広島飛ばし解消のため、「①新アリーナは必要」が91.8%と高く、「②どちらかといえば必要」が7.7%、①と②でほぼ100%という結果で、③は実数で1人であった。本シンポジウムは、新アリーナの実現に向けた機運醸成が目的であり、アリーナの必要性に対する参加者の意識が高いことが分かる。

# 参加者アンケート(求めるアリーナ:自由記述)

質問9：どのようなアリーナがいいですか（自由記述）

主な意見

## 【アクセス・立地】

「広島駅から近い」「直通バス運行」  
「空港からのアクセスが良い」

## 【施設内容】

「多目的・スポーツ」「コンサート優先」「会議」  
「公演がない日も行きたくなる」「365日稼働」  
「平和の発信」「広島文化を伝える」

## 【観戦・鑑賞環境】

「どの席からも見やすい」「大型ビジョン」  
「快適な座席スペース」「多様な席種」  
「客席とステージの近さ」

## 【規模】

「1万人以上」「広島らしくそれほど多くない規模」  
「大きなアリーナ」

## 【動線・混雑対策】

「入退場がスムーズ」「濡れない動線」

## 【デザイン・外観】

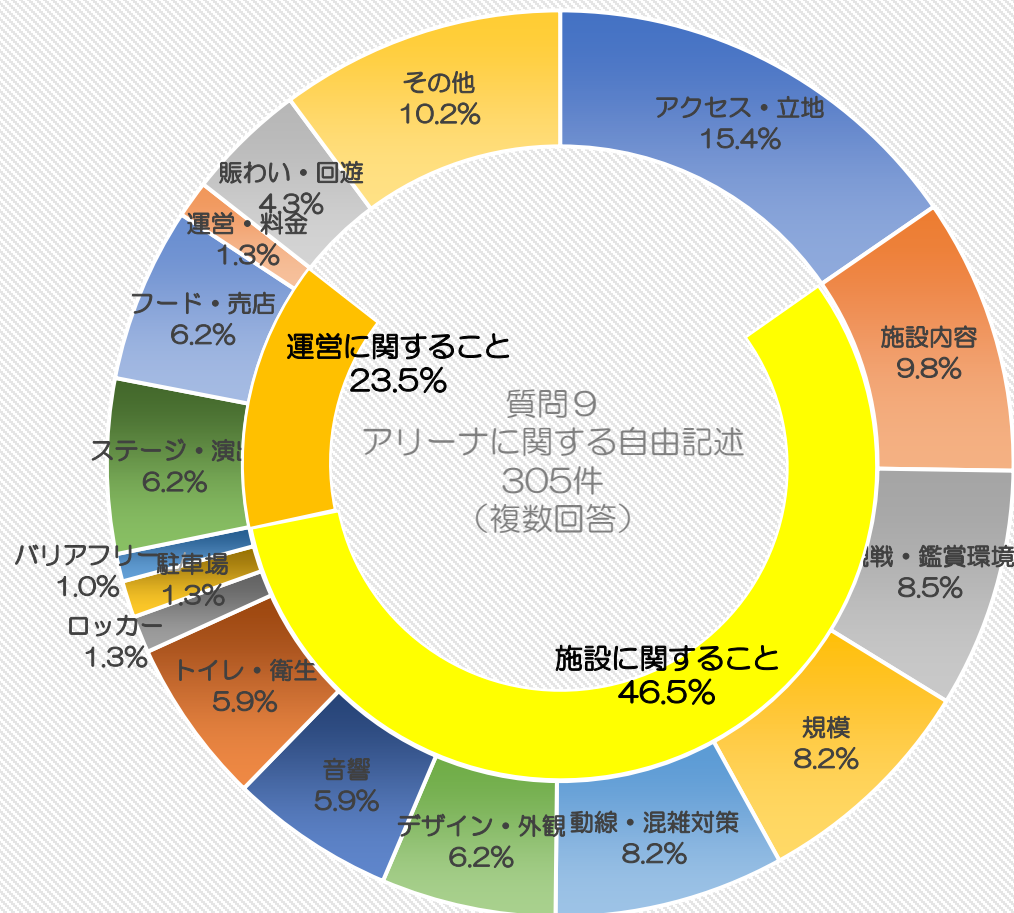
「広島らしい外観」「まちのシンボル」

## 【音響】

「音の響きが良い」「上層階でも明瞭な音響」

## 【トイレ】

「トイレの待ち時間が少ない」「女性トイレ多め」



「どのようなアリーナがいいですか」の自由記述305件（複数回答）において、アクセス・立地が約15.4%と一番多く、それ以外は「施設」と「運営」に大別できる。施設に関することは約47%（施設内容、観戦・鑑賞環境、規模、動線、デザイン、音響、トイレ等）、運営に関することは約24%（ステージ演出、売店等）で、商業施設併設など販わい・回遊を求める意見もあった。

# 参加者アンケート(その他自由記述)

質問10：その他意見（自由記述）

主な意見

## 【応援・期待】

「楽しみ」「頑張ってもらいたい」

## 【イベントの企画・運営】

「呼べる仕組み・告知・集客強化」「良いコンテンツが最重要」「ライブ優先がうれしい」

## 【アクセス・交通】

「九州・関西から来やすい」「駅近」  
「交通利便性が良い場所」

## 【広島らしさ】

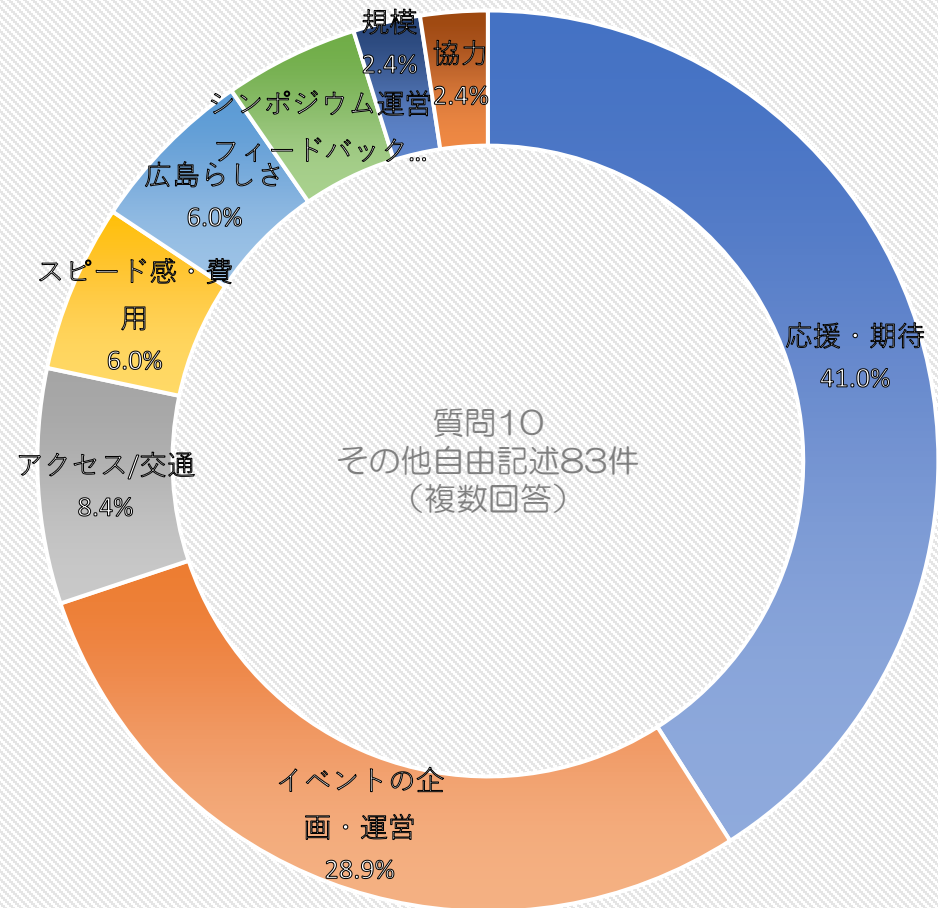
「シンボル性」「広島らしい平和の象徴に」

## 【スピード感】

「前に進んでいない」「早期に決定してほしい」  
「建設・運営の責任主体を明確に」

## 【協力】

「寄付で協力したい」



その他意見の自由記述83件（複数回答）では、新アリーナの実現について応援や期待する声が一番多く41%、次いで、イベントの企画・運営、アクセスに関する意見が続いた。その他では、広島らしさを求める意見、寄附で協力したいといった意見もあった。

# 参加者アンケートまとめ

## 総括

- ➡ シンポジウム参加者の全ての属性（性別、年代、居住地）において、**コンサートの広島飛ばし解消のために「新アリーナが必要」との意見が圧倒的多数**であった。
- ➡ **コンサートやイベントの前後に飲食や買物をしたり、居住地域外で開催されるコンサートやイベントに参加する際、現地観光することについては、性別や年代による差は多少あるものの、概して、飲食や買物、現地観光する割合が高いことが分かった。**  
中国地区コンサートプロモーターズ連絡協議会によると、広島でコンサートが行われる場合、来場者の約6割が県外からの来訪者であることも踏まえると、**新アリーナが整備されれば、周辺の飲食店や商業施設、観光産業等への経済波及効果は大きく、広島地域の活性化につながると考えられる。**
- ➡ アンケートの自由記述で、**新アリーナについて特に意見が多かったのは、「駅から近い交通アクセス」「多目的・スポーツ・ライブ」「見やすさや快適な座席など良好な観戦・鑑賞環境」「1万人以上の収容人員」「音響のよさ」「スムーズな入退場」「広島のシンボル」「待ち時間が少なく快適に使えるトイレ」**などであり、これらは具体性があり、シンポジウム参加者による新アリーナへの熱意が伝わる内容である。  
また、**その他意見の自由記述では、新アリーナへの期待や応援の声が多く寄せられるとともに、アリーナの企画・運営面で、著名なアーティストを招聘する仕組みなどソフト面の工夫の必要性についても意見があった。**また、「**スピード感を持って取り組んでほしい」「広島らしさを求める」「寄付で協力したい」といった声も寄せられた。**

# アンケートの概要(第4回シンポジウム)

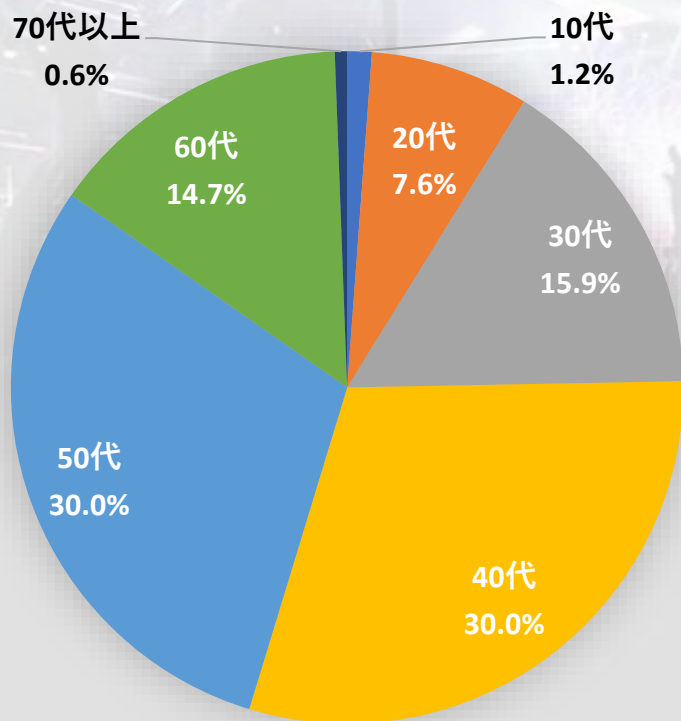
シンポジウム開催日:令和8年6月6日(土)

シンポジウム開催場所:広島コンベンションホール

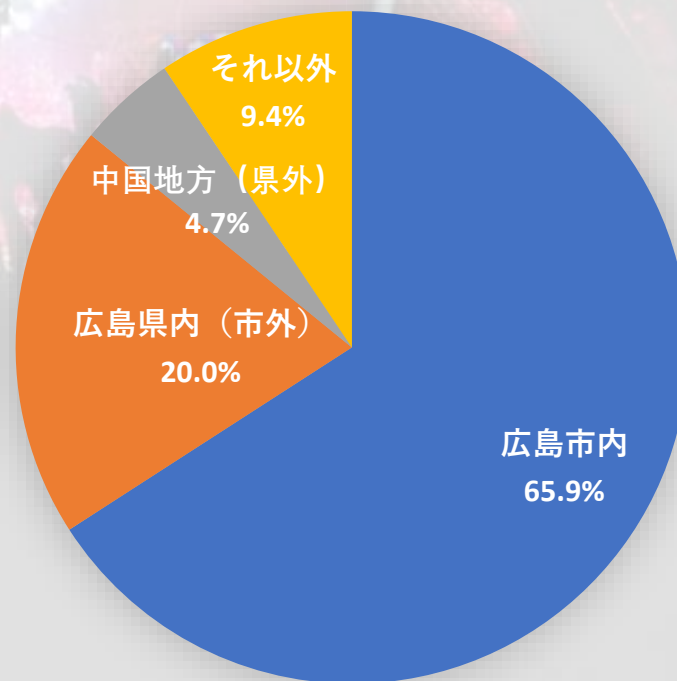
回答数:170(事前申込時のアンケート記載による)

設問数:4(居住地、年代、広島らしさを感じるアリーナとは、新アリーナが広島にもたらす効果・影響)

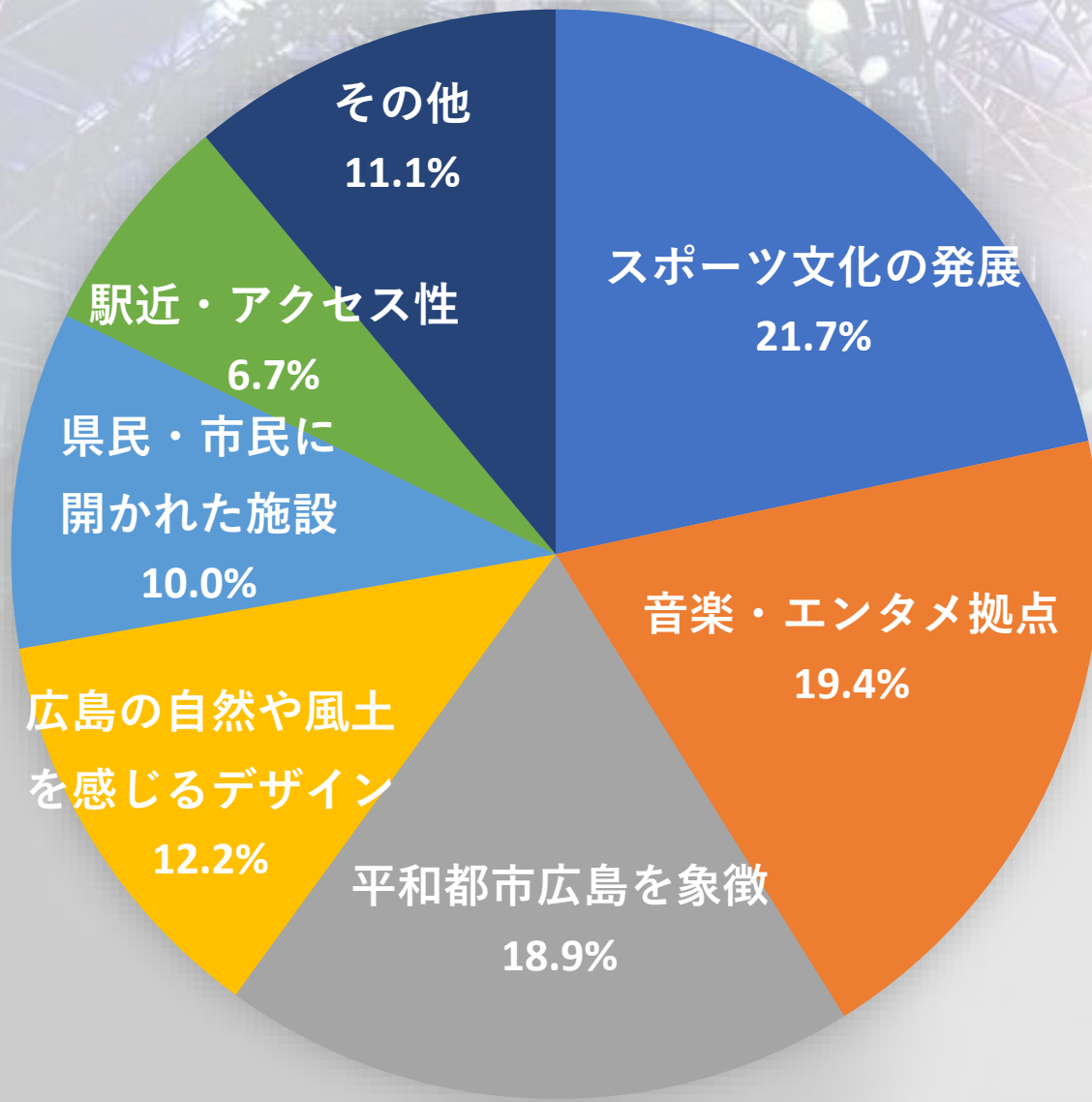
年代



居住地



# ①広島らしさを感じるアリーナとは



- ・最も多かったのは「**スポーツ文化の発展**」であり、広島ドラゴンフライズや広島サンダースをはじめとした**広島地域のスポーツを支える新たな拠点として、期待**されている。スポーツ観戦の臨場感向上や次世代へのスポーツ文化継承への期待も大きい。
- ・「**音楽・エンタメ拠点**」への期待も高く、コンサートやライブ開催による新たな都市魅力の創出を求める声が多数を占めた。
- ・アリーナには**スポーツとエンタメの両立**が期待されている。
- ・「**平和都市広島を象徴**」という意見も多く、平和文化、折り鶴、原爆ドームなど広島固有の歴史や価値観を反映した施設が求められている。
- ・「**自然や風土**」では瀬戸内海、川、もみじ、牡蠣、レモンなど**広島らしい景観や特産品をデザインに取り入れてほしい**という声が目立った。
- ・「**駅近・アクセス性**」では広島駅直結や**交通利便性を重視する意見**があり、集客力向上の重要条件として捉えられている。

# ①求められるアリーナ像

スポーツ文化の発展

- ・カープ・サンフレに続く広島の新たなスポーツシンボル
- ・広島ドラゴンフライズの本拠地
- ・バスケ・バレー等の屋内競技の聖地
- ・選手との距離が近い臨場感のある施設

- ・大型アーティスト、国内外ツアーが開催できる規模
- ・スポーツとライブの両立
- ・国際的なエンタメ拠点
- ・「広島飛ばし」の解消

音楽・エンタメ拠点

# ①求められるアリーナ像

平和都市広島を象徴

- 平和文化を発信できる施設
- 折り鶴や原爆ドームなど広島らしいモチーフ
- スポーツや音楽を通じて平和の尊さを感じられる空間
- 「平和・鎮魂」から「平和文化」へ進化する象徴

瀬戸内



もみじ

レモン



水の都ひろしま

緑と川

海



宮島

牡蠣



感じるデザイン  
広島の自然や風土を

# ①求められるアリーナ像

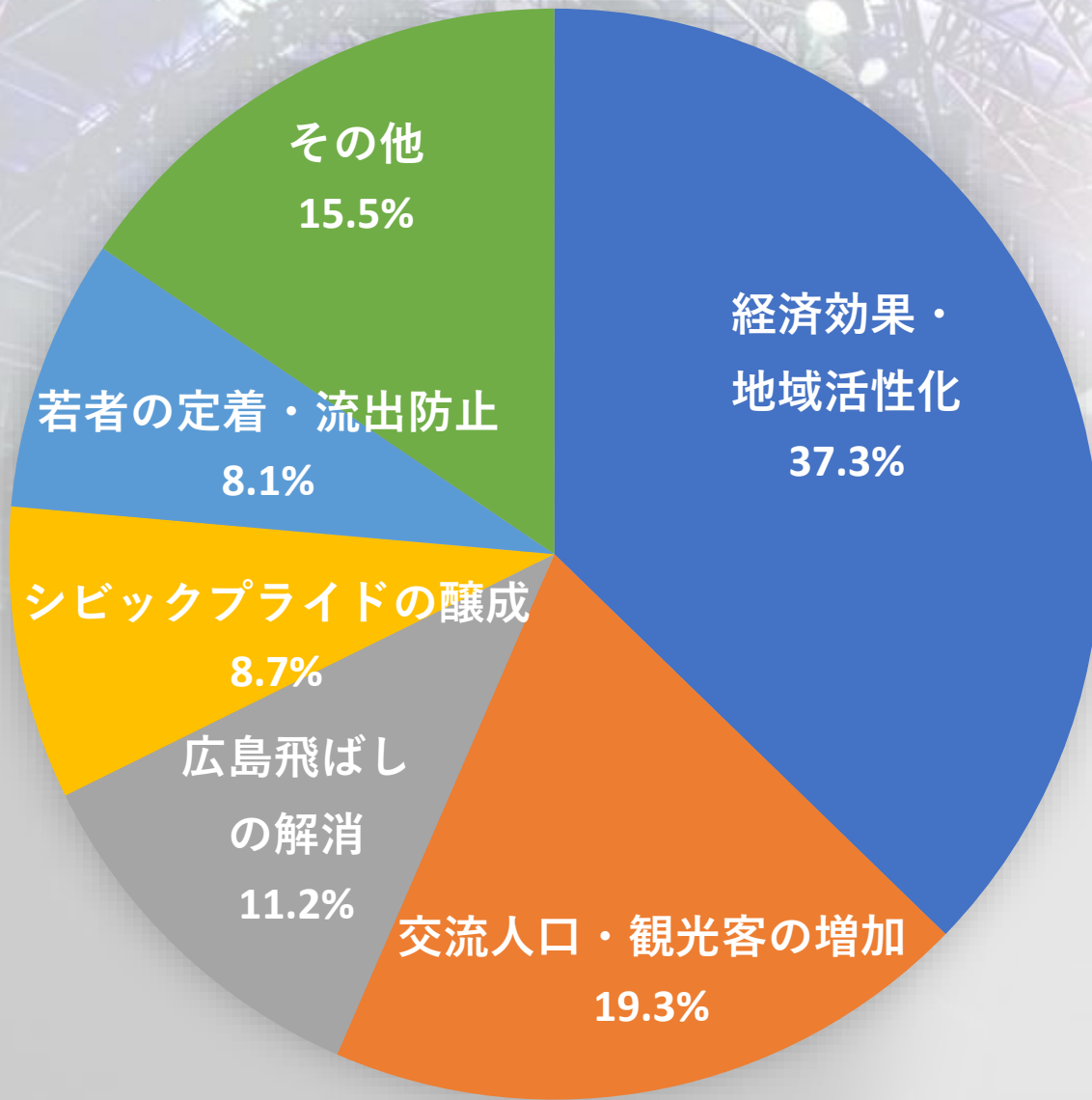
開かれた施設  
県民・市民に

- ・試合やイベントがない日も、様々な人が集まる
- ・生活と繋がっている、当事者意識を持てるアリーナ
- ・誰もが集える、広く一般に開放された施設運営
- ・人々の憩いの場としての機能

- ・広島駅などに直結し利便性が高い
- ・JRや広電など公共交通との接続
- ・遠方客も利用しやすい立地
- ・混雑しにくい導線整備

駅近・アクセス性

## ②新アリーナが広島にもたらす効果・影響



- ・最も多いのは「経済効果・地域活性化」であり、飲食、宿泊、商業、雇用など幅広い経済波及効果への期待が強い。
- ・「交流人口・観光客の増加」も多く、全国や中四国から人を呼び込み、**広島観光と結び付ける起爆剤として期待**されている。
- ・「広島飛ばしの解消」では、ライブやコンサート誘致を通じた**エンターテインメント機会の増大により、選ばれる都市になる期待**が表れている。
- ・「シビックプライドの醸成」では、市民が誇れる**広島**の新しいシンボルや都市の**魅力向上への期待**が示された。
- ・「若者の定着・流出防止」では、魅力的なエンタメ環境が若者の定着につながるなど、**人口流出防止の一助としてアリーナが期待**されている。

## ②新アリーナに期待される効果・影響

経済効果・地域活性化

- ・観光消費の増加
- ・宿泊需要・飲食売上増加
- ・広島駅北口の活性化につながる
- ・地域経済の活性化、若者の雇用創出

- ・県内外から人が集まり観光客が増える
- ・観光地やホテルも含めた経済効果
- ・関係人口や交流人口の増加

交流人口・観光客の増加

## ②新アリーナに期待される効果・影響

- ・ライブの広島飛ばしがなくなる
- ・K-POPや海外アーティスト誘致
- ・大型アーティストのツアー対象になる
- ・エンタメ機会の増大

- ・広島の新しいシンボル
- ・市民が誇らしく感じるアリーナ
- ・都市の魅力向上

- ・若い世代が住み続けたいまちになる
- ・若者の県外転出の抑制
- ・人口流出防止につながる

「広島飛ばし」の  
解消

流出防止  
若者の定着

の醸成  
シビックプライド

### ③懸念事項

#### 交通対策

- ・周辺渋滞対策や駅構内の混雑対策が必要
- ・帰宅難民への対応
- ・公共交通アクセスの確保

- ・大きすぎない施設
- ・身の丈にあった規模・スペック
- ・中規模アリーナにも需要がある

#### 適正規模

#### 都市構造への 配慮

- ・広島駅周辺だけに集中させない
- ・紙屋町・八丁堀との共存

# 総括

参加者(県民・市民等)の意見を総括すると、機能的には  
「平和を礎に、スポーツ・エンターテインメントを融合し、  
広島を未来を象徴する新たな都市拠点」

スポーツ文化  
の発展

経済活性化

平和文化  
の発信

若者流出  
の抑制

広島の新たな  
シンボル形成

「広島飛ばし」  
の解消

参加者の共通したメッセージを整理すると…

「県民・市民が誇れて、県内外から人を呼び込み、  
未来の広島を支えるアリーナ」



**ワールドカフェ(2026年6月6日) 参加者の思い**  
**～広島らしさを感じる新アリーナに関する意見～**

## ～広島らしさを感じる新アリーナに関する意見～

## 頻出キーワード(ワードクラウド)



※文字の大きさは出現頻度の多さを示している。

## テーマ別 代表的な意見

平和

- ・折り鶴のモニュメントを設置
- ・世界の人々誰もが楽しめる

## スポーツ

- ・広島ドラゴンフライズ & 広島サンダーズの拠点に
- ・スポーツがもっと盛り上がる施設
- ・広島グルメが食べられるアリーナ
- ・選手プロデュースグルメが食べたい

**グルメ**

## 宮島・自然

- ・宮島の鳥居をイメージした外観
- ・瀬戸内や川を感じるデザイン

音楽・エンタメ

- ・世界に誇れるライブ・コンテンツ発信拠点
- ・海外のアーティストが来てくれる。

日常

- ・広島の人々が日常を楽しめるアリーナ  
・365日入って楽しむ！

- ✓「平和」「スポーツ」「グルメ」「宮島・自然」が広島らしさの主要素として挙げられた。
- ✓スポーツとエンタメの融合施設としての期待が非常に高い。
- ✓アリーナグルメやSNS映えなど、体験価値への関心が高い。
- ✓日常的に使える「県民・市民に開かれた施設」への要望も多い。
- ✓アクセスの良さや利便性も重要なワードとして挙げられている。